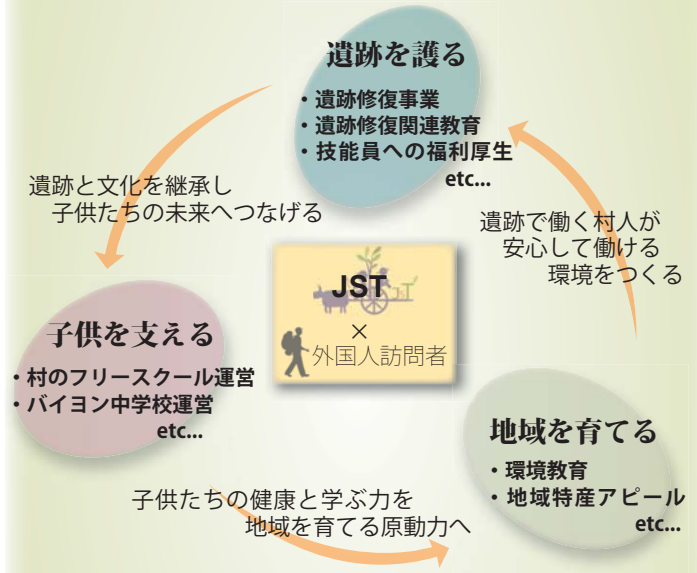



**JST**は  
遺跡周辺に暮らす  
村の人々と共に活動しています

はじまりは1994年。  
アンコール遺跡修復事業に派遣された日本人専門家と、作業現場で働くアンコールクラウ村作業員との、村ぐるみの交流がきっかけでした。  
そして、2005年にローカルNGOとしてJSTが誕生。  
カンボジアの歴史・風土に魅せられた外国人訪問者を巻き込んで、遺跡と、遺跡で働く村人と、遺跡を訪れる外国人訪問者、すべての人々が集える“場”として、JSTが存在できたら、と思っています。



JST代表  
チア・ノル Chea Nol



1966年カンボジア、シェムリアップ生まれ。ポルポト政権下で父と二人の兄を失い、13歳のとき難民として日本に避難。以後日本で育ち、中央大学国際経済学部卒業後、1994年より現在まで、母国カンボジアにて日本国政府アンコール遺跡救済チームで通訳・渉外・現場監督補助をつとめる。  
2005年にシェムリアップでNGO「JST（アンコール人材養成支援機構）」を設立し、代表に就任。カンボジア農村部の人々の自立を目指し、道路や橋のインフラ整備、子供の教育など、地域に根差した支援活動を行っている。2013年、自己資金と海外からの支援金を投じて、公立の「バイヨン中学校」をアンコール・トム



**JST 連絡先**

JST HP : <http://www.jst-cambodia.net>  
 Email : [info@jst-cambodia.net](mailto:info@jst-cambodia.net)

住所 : Mr. Chea Nol (097-6710 888),  
 c/o JASA/UNESCO Office, #056, Group6, Tropeang Ses,  
 Kokchork, Siem Reap, Cambodia.

担当 : 小出 陽子 TEL:+855-97-8785 627

■ JST 会員随時募集中です！

ご入会いただける方は、JST ホームページより申し込みフォームにご記入の上、Email または FAX にて上記連絡先までお送りください。  
 個人会員 : US\$50 又は ¥6000  
 JST にご協力くださる団体・企業の方も大歓迎！

年会費、寄付金のお振込みは下記の口座をご利用ください。  
 ゆうちょ銀行 名義；ジェイエスティー  
 普通預金 口座；記号 10010 番号 97367631  
 (他行より； 店番〇〇八 口座番号 9736763)

- JST への支援グループ (2017年, 2018年)
- 特別協力：日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JASA)  
 日本ユネスコ協会連盟, Café Moi Moi
- |                              |                  |
|------------------------------|------------------|
| GWA, アンコールやまなみファンド           | 早稲田大学            |
| (一財) 国際開発センター (IDC)          | コーリンス・山根 せんせい基金  |
| NPO オアシス                     | リサイクルの会          |
| 幸田サーキット YRP 桐山               | NPO ふるさと南信州 緑の基金 |
| 名古屋環未来研究所                    | 山村留学 (公財) 育てる会   |
| Together To the Future (TFF) | 東京新橋ロータリークラブ     |
| 関西学院大学、高校                    | ホノルルロータリークラブ     |
| 聖心女子学院高等部                    | 京都ロータリークラブ       |
| 愛知県立一宮商業高校                   | 一宮中央ロータリークラブ     |
| 愛知教育大学                       | 二戸ロータリークラブ       |
| 仙台二華高校                       | (株) 東翔           |
| 立教大学                         | (株) TOMONARI     |
| 明治大学                         | (株) オーマイグラス      |

ブログと Facebook にて、JST の活動とカンボジアの今を発信中！

★ JST HP ⇒ <http://www.jst-cambodia.net>  
 ★ JST Facebook ⇒ [facebook.com/NGO.JST](https://facebook.com/NGO.JST)

バイヨン中学校 教育大臣賞受賞。チア理事長、ルー校長と生徒たち。



Ver.3 (2019年5月)



**JST** アンコール人材養成支援機構  
 Joint Support Team for Angkor Community Development



# 地域と歩む

「カンボジアの未来はカンボジア人自身が築き上げる」ことを目指し、2013年、JSTはバイオン中学校を創設し、運営を行っています。

バイオン中学校創設前、地域の中学校進学率は、小学校卒業生のわずか15%に満たない状況でした。しかし、中学校ができたことにより進学率はほぼ100%となり、小学校卒業後も勉強を続けたいという地域の子供たちの夢が実現しました。けれども、この地域には、まだまだ深刻な教育問題が残されています。たとえば・・・、

- 1) 地域にある5つの小学校では、在学中の留年および中退者数が多いこと。  
(右表参照。どの学校でも入学人数は毎年ほぼ同人数であるが、6年生まで進級できるのは約半分)
- 2) バイオン中学校に入学したものの、働くために退学せざるを得ない生徒がいること。(現在までに73名)
- 3) 中学校卒業後に進学する高校が近くにないこと。
- 4) 今後、小学校での退学者数が減少し、地域の子供たち全員が中学校に進学ようになった場合、バイオン中学校の教室が足りなくなること。(右表参照。小学校1年生の生徒数を基準とすると、3学年で1000人以上となる。)
- 5) 国から支給される学校運営費が生徒一人当たり年間2ドルと少ないため、円滑に運営を行うには他の収入源を考えなければならないこと。
- 6) 国から支給される教員の給料が少ないため、毎月、交通費の補てんを続ける必要があること。  
等です。

現在、バイオン中学校のほぼ全員の生徒が進学を希望しています。この希望の光を絶やすことなく、徐々に大きく育てていくことをJSTの次なる目標としています。

## ■バイオン中学校校区にある小学校5校の生徒数リスト(2016)

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計(人)
アンコールクラウ	164	137	98	85	81	67	632
コックベイン	42	38	30	33	30	21	194
コックタナオ	80	80	82	80	55	43	420
コックルル	27	18	11	13	27	17	113
ブラサートチャツ	46	46	38	38	37	38	243
合計人数	359	319	259	249	230	186	1602

## ■バイオン中学校生徒数、先生数リスト

年度	中学1年生	中学2年生	中学3年生	退学者数	教師数
2013~14年	135	0	0	0	2
2014~15年	167	130	0	5	6
2015~16年	185	158	117	22	9
2016~17年	159	168	148	27	13
2017~18年	196	147	161	19	13
2018~19年	207	173	136	34	14



# 遺跡を護る

地域の人々が安心して遺跡修復を続けていけるように、そして育った芽を着実に次の世代へとつなげるため、JSTはJASA(日本国政府アンコール遺跡救済チーム)の技術指導のもと、遺跡修復活動、技能員の支援を行っています。

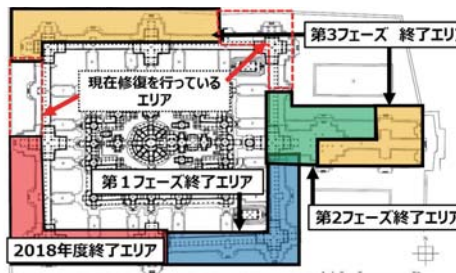
## バイオン寺院ナーガ、シンハ彫像修復プロジェクト

バイオン寺院は20世紀初頭に一度はフランス極東学院による修復をうけているものの、その後の内戦や樹木などの影響で新たに崩落した箇所も少なくなく、現在も劣化や崩落が目立ちます。特にバイオン寺院を訪れる観光客が必ず最初に目にし、そのすぐ脇を通ることになる外回廊や参道のナーガ、シンハ彫像や欄干が崩落したままでは、安全性や景観上大きな問題がありました。そこでJSTでは2012年よりJASAの技術協力のもと、日本ユネスコ協会連盟との共同事業としてこれらの彫像や欄干の修復プロジェクトを開始しました。これまでの6年間で外回廊、参道全体のうちおおよそ3分の2の修復を終えることができ、これまで修復してきた彫像の数はナーガ彫像が31体、シンハ彫像は14体にのぼります。

このプロジェクトのもう一つの大きな目的は、カンボジアの遺跡保存を担うことのできる新たなカンボジア人技能員・専門家を育成することです。20年にわたるJASAの活動の中で育まれた人材育成の輪の集大成として、「カンボジア人からカンボジア人へ」の技術移転をめざし、部材修理の方法、図面の書き方、重機の操作、再構築の技術など、日々指導が行われています。



当プロジェクトのメンバー・専門家1名と技能員8名



# JSTの歩み

1994	日本国政府アンコール遺跡救済チーム(JSA)発足 チア・ノル; JSA常駐団員として、祖国カンボジアに戻る。 遺跡修復作業員たちの村であるアンコールクラウ村に出会い、活動を始める。
1997	橋第1号建造
1998	村の道路4km建造 アンコールクラウ村小学校の再建 小学校先生への給与補填支援
1999	橋第2号建造
2000	橋第3号建造
2001	コクタチャー小学校建設 村の集会所建設 秋篠宮殿下へバイオン寺院闘鶏石彫献上
2002	村の道路2km延長
2003	Moi Moi農園水上テラス建設
2005	JST設立。カンボジアローカルNGOとして内務省に登録。
2006	アンコールクラウ村コミュニティセンター開設 村の子供たちのための英語教室開始(フリースクール)
2007	JSTオリジナルツアー開始
2008	バイオン・インフォメーションセンター(BIC)開館
2009	アンコール遺跡社会見学会開始
2010	アンコールクラウ小学校 2教室増築
2012	バイオン寺院ナーガ・シンハ彫像修復プロジェクト開始
2013	バイオン中学校創設。6教室、生徒135名(中学1年生のみ)、教員2名
2014	バイオン寺院ナーガ・シンハ彫像修復プロジェクト; 第2フェーズ開始
2015	バイオン中学校完成式典。16教室、教員用宿舎、体育倉庫、給食かまど完成。
2016	バイオン中学校; 第1回運動会開催(以後、毎年1月に実施) バイオン寺院ナーガ・シンハ彫像修復プロジェクト; 第3フェーズ開始
2018	バイオン中学校; 教育大臣より功労賞受賞。第1回文化祭開催
次なる目標; 2019年11月、バイオン中学校に高校併設!	